

## ◆南海トラフ地震に備える

南海トラフとは、駿河湾から四国にかけての海底に延びる延長約700kmの溝状の地形です。ここで発生する地震を「南海トラフ地震」と呼びます。

5月、気象庁は**南海トラフ地震臨時情報**の提供を始めました。

## ■南海トラフ地震臨時情報

| キーワード  | 情報の発表条件                            |
|--------|------------------------------------|
| 調査     | 南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するか調査を開始した場合      |
| 巨大地震警戒 | 巨大地震の発生に警戒が必要な場合                   |
| 巨大地震注意 | 巨大地震の発生に注意が必要な場合                   |
| 調査終了   | 巨大地震警戒、巨大地震注意いずれにも当てはまらない現象と判断した場合 |

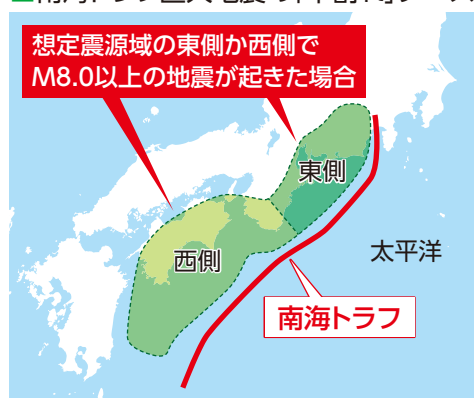
これは、南海トラフ沿いの大規模地震の発生する可能性が高まったと判断された場合などに発表されます。この情報が発表された時は、テレビやラジオからの正確な情報を確認し、落ち着いて行動してください。

## ◆後発地震がくる

南海トラフ地震臨時情報に伴う国のガイドラインが、3月に策定されました。

南海トラフ地震の想定震源域は広範囲であるため、想定震源域内の東西片側のプレート境界でマグニチュード8.0以上の地震が発生した場合（「半割れ」ケース）、残りの地域でも、同程度の地震が発生する頻度が高まります。このため、後発地震が発生した後では、津波からの避難が間に合わない地域などに対し、国から避難指示が出され、一週間程度、親類や知人宅、避難所などへの避難が呼び掛けられます。避難をする際は、慌てず、水や食料、身の回りの必要な物を用意して避難しましょう。

## ■南海トラフ巨大地震の「半割れ」ケース

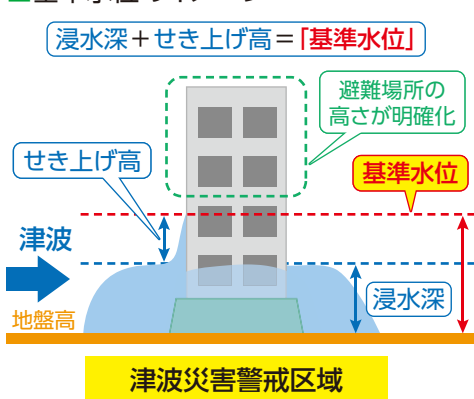


## ◆津波災害警戒区域の指定

県は、南海トラフ地震で浸水が想定される沿岸地域を**津波災害警戒区域**に指定しました。この区域は、従来の浸水想定区域と同じ範囲ですが、浸水区域内の建築物などに津波がぶつかったことを想定したせき上げ高を浸水深に加えた**基準水位**が新たに示されました。この**基準水位**を確認することで、その地点で安全に避難するための高さが分かります。ぜひご活用ください。

津波災害警戒区域と基準水位については、県河川課HPや本市の防災対策課で閲覧することができます。

## ■基準水位のイメージ



防災対策課  
TEL 23-3548  
FAX 23-0180  
saigai@city.tahara.aichi.jp

## 食べながら備えるローリングストックのススメ

災害への備えとして、食料をどのくらい備蓄していますか？

実際に食料を備蓄しておくのはなかなか難しいですね。備蓄していても、いざというとき消費期限が切れている場合もあります。

そこで、日常生活で消費しながら備蓄する方法があります。普段から少し多めに、食材や加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食材を家に備蓄しておく方法をローリングストックといいます。



※この方法は食料だけでなくラップなど日用品にも応用できます